

何で議会で揉めてるの？

A. 市民に必要性を伝える機会が十分に用意されておらず、また、具体的な全体像が見えづらい中で整備費用や財政への影響、候補と目される場所の近隣への影響が先行したためです。これまでの市当局と議会のやり取りで、過去の附帯決議の内容が盛り込まれているか不明確で、溝や不信感が生まれていたためです。

これからどうなるの？

A. 令和7年度中に示されている基本計画案に、規模、場所、費用、既存施設の利用等が公表されます。これに対し、市議会が議論し、整備のあり方について方向性が決まります。



近藤千鶴

市民に説明がない。市民の暮らしに直結するものを優先すべき。

修正案



臼井由紀子

限られた予算。収蔵物も曖昧な箱物建設より本当に必要な分野へ。

修正案



渡辺佳正

市民の理解、市の基本方針、社会情勢への配慮、すべてありません。

修正案

物価高騰、少子化、すべきことは他にある。明確な判断材料もない。

岩村恵美

修正案



基本計画作成前に、中途半端に終わった基本構想を作り直すべし。

佐野和彦

修正案



歴史の文化と継承は大切であるが博物館の場所と規模を再考願う。

村瀬旬

修正案



仲亀恭平

いま、本当に必要？市民は“ハコモノ”に対してネガティブな意見。

修正案



小松快造

博物館構想を進めるには市民の声を十分に受入れた事業展開が必要。

修正案

人口減少が加速する今、市民ニーズと全くかけ離れているから。

稲葉晃司

修正案



基本構想をもう一度練りなおすべき。博物館のコンセプトを明確に。

望月芳将

修正案

